

# 愛媛県の地震

2024年（令和6年）8月

## 目次

1. 愛媛県周辺の震央分布図 ..... 1
2. 地震概況 ..... 1
3. 愛媛県で震度1以上を観測した地震 ..... 2
4. 愛媛県で震度1以上を観測した地震の震度分布図 ... 2～3
5. 地震一口メモ

8月8日の日向灘の地震と南海トラフ地震臨時情報

について..... 4～5

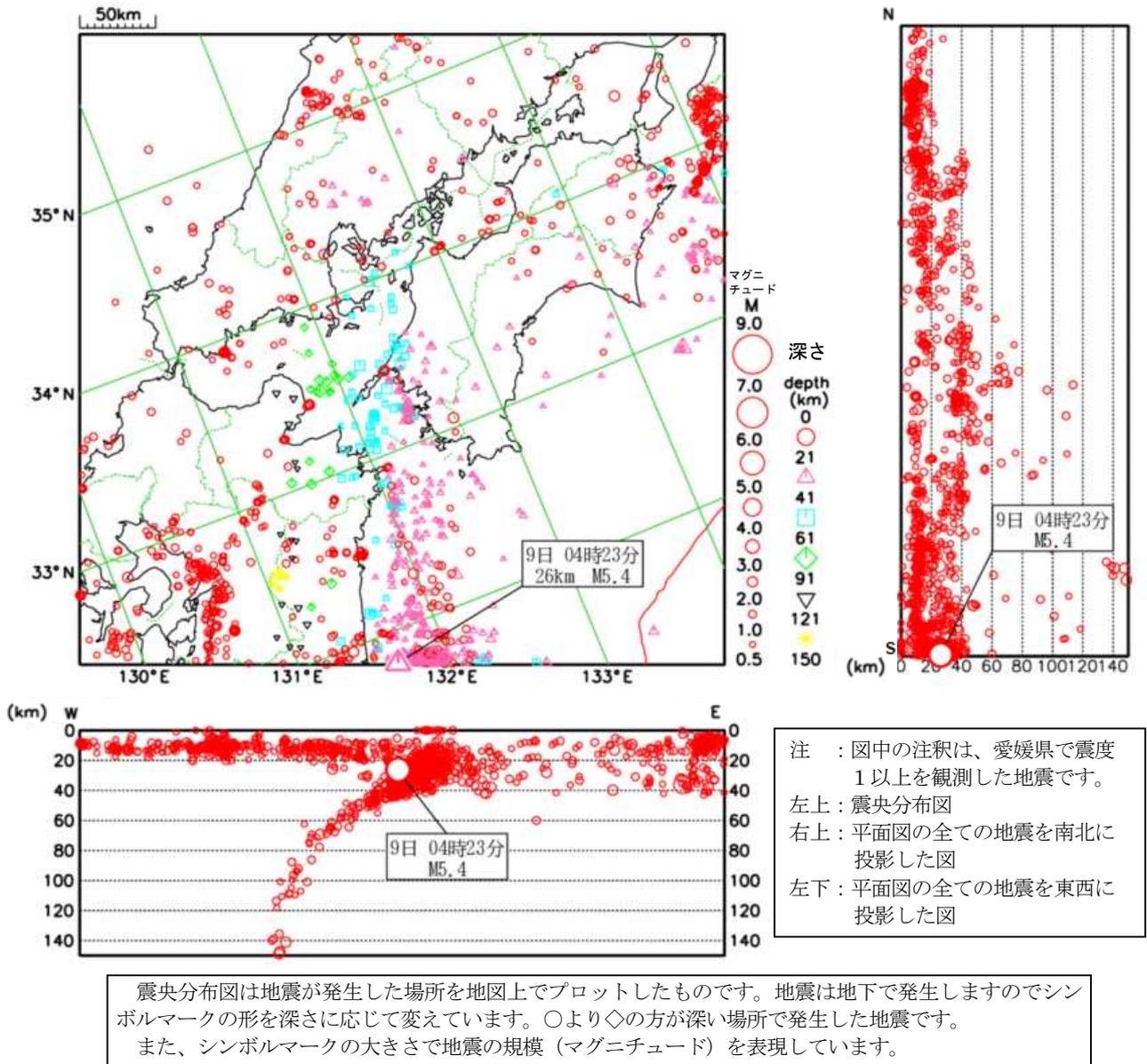
本資料に記載した震源要素（緯度、経度、深さ、マグニチュード）は、暫定値です。これらは、後日、再調査のうえ修正することがあります。

本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。

また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

松山地方気象台

# 1. 愛媛県周辺の震央分布図 [2024年8月1日～8月31日]



## 2. 地震概況

2024年8月に、上図の震央分布図内の領域で決定した地震のうちM2.0以上の地震の回数は144回（先月は65回）、愛媛県内で震度1以上を観測した地震は2回（先月は6回）でした。

8日16時42分日向灘の地震（深さ31km、M7.1：地図範囲外）により、愛媛県伊方町で震度4を観測したほか、愛媛県今治市・松山市・宇和島市・八幡浜市・西予市で震度3を観測しました。宮崎県日南市で震度6弱を観測したほか、東海・近畿・中国・四国・九州地方にかけて震度5強～1を観測しました。この地震により、千葉県から鹿児島県にかけて津波を観測し、宇和島では7cmの津波を観測しました。

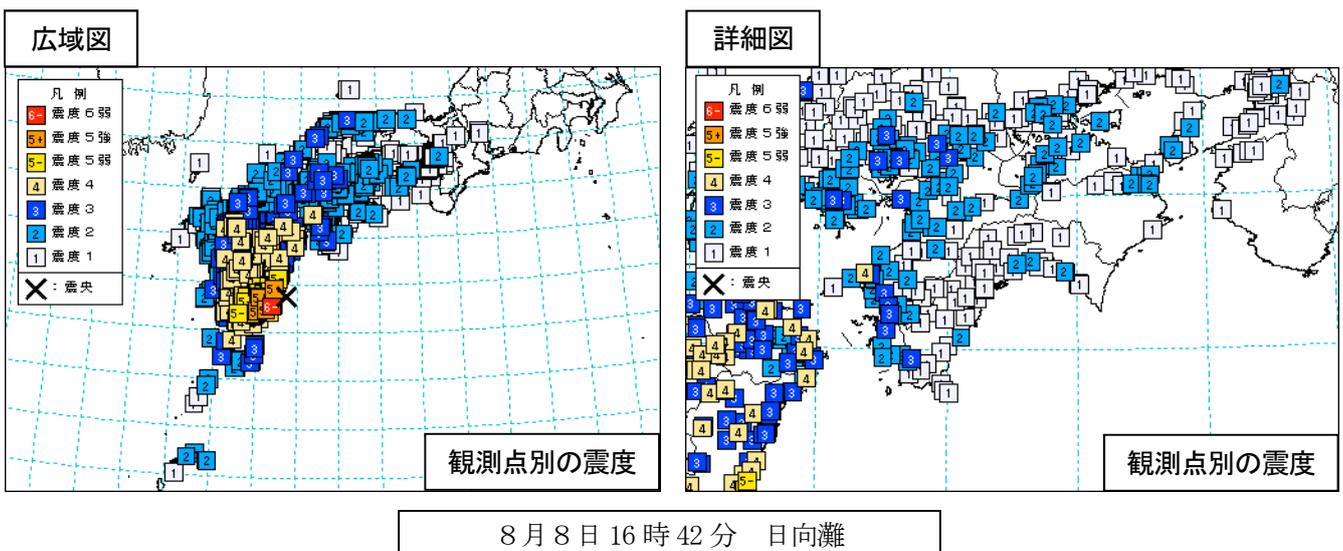
9日04時23分日向灘の地震（深さ26km、M5.4）により、愛媛県八幡浜市・伊方町・西予市で震度2を観測しました。そのほか、近畿・中国・四国・九州地方にかけて震度3～1を観測しました。

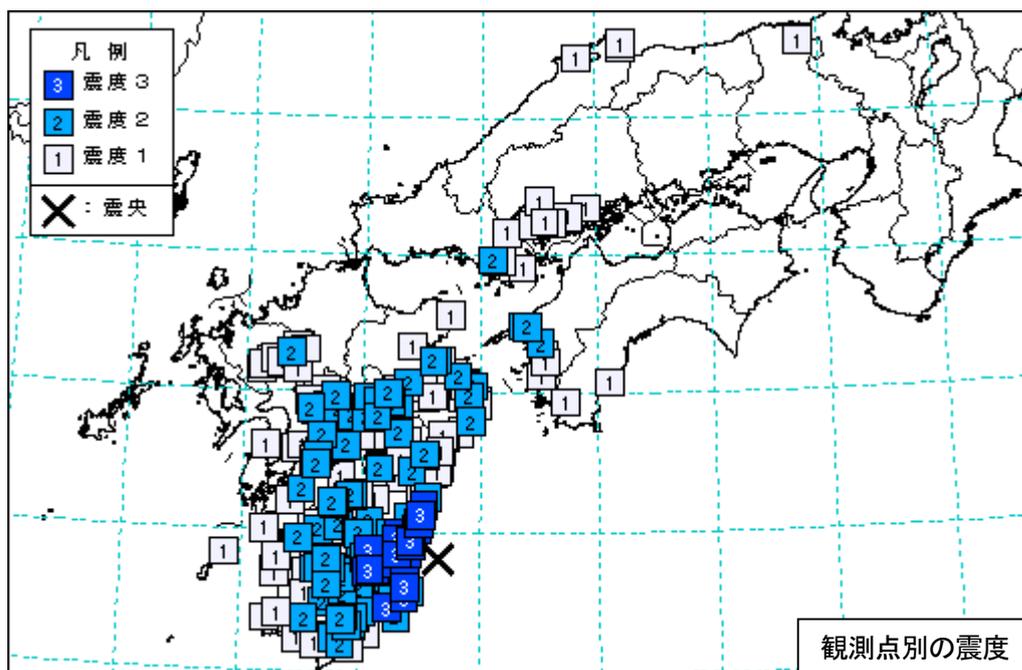
### 3. 愛媛県で震度1以上を観測した地震

注：\*印は地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点です。

震源時（日時分）	震央地名	緯度	経度	深さ	マグニチュード	最大震度
2024年08月08日16時42分	日向灘	31°44.2'N	131°43.3'E	31km	M7.1	6弱
----- 地点震度 -----						
愛媛県	震度 4：伊方町湊浦*					
	震度 3：今治市大三島町*、松山市中島大浦*、宇和島市住吉町、宇和島市津島町* 宇和島市吉田町*、八幡浜市保内町*、西予市宇和町*					
	震度 2：今治市南宝来町二丁目、今治市大西町*、今治市菊間町*、今治市吉海町* 今治市波方町*、西条市新田*、西条市丹原町池田*、西条市小松町* 四国中央市中曾根町*、上島町弓削*、松山市北持田町、松山市富久町* 松山市北条辻*、伊予市下吾川*、愛媛松前町筒井*、久万高原町久万*、東温市南方* 東温市見奈良*、宇和島市丸穂*、宇和島市三間町*、八幡浜市広瀬、八幡浜市五反田* 大洲市肱川町*、大洲市長浜*、大洲市大洲*、伊方町三机*、松野町松丸* 西予市三瓶町*、西予市明浜町*、愛南町船越*、愛南町柏*、愛南町御荘* 愛南町一本松*、愛南町城辺*					
	震度 1：今治市朝倉北*、今治市宮窪町*、新居浜市一宮町、西条市丹原町鞍瀬、伊予市中山町* 砥部町総津*、久万高原町東川*、大洲市豊茂、内子町内子*、内子町平岡* 伊方町三崎*、西予市野村町、西予市城川町*、愛媛鬼北町成川、愛媛鬼北町下鍵山* 愛媛鬼北町近永*					
2024年08月09日04時23分	日向灘	31°48.7'N	131°38.9'E	26km	M5.4	3
----- 地点震度 -----						
愛媛県	震度 2：八幡浜市保内町*、伊方町湊浦*、西予市宇和町*					
	震度 1：宇和島市住吉町、宇和島市津島町*、宇和島市吉田町*					

### 4. 愛媛県で震度1以上を観測した地震の震度分布図





8月9日 04時23分 日向灘

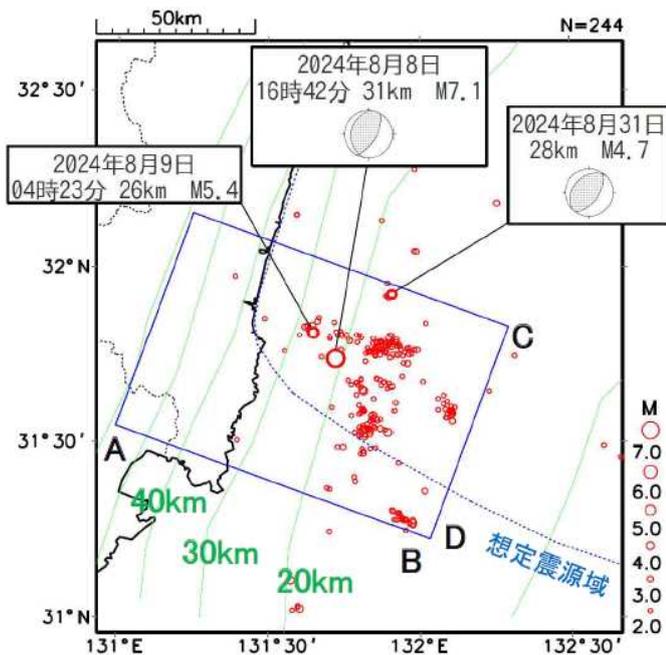
## 5. 地震一口メモ

### 8月8日の日向灘の地震と南海トラフ地震臨時情報について

震央分布図

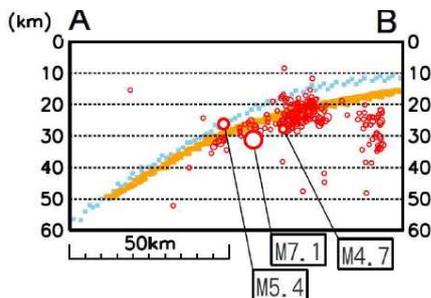
(8月8日00時～9月2日24時、 $M \geq 2.0$ 、深さ0～60km)

図中の発震機構はCMT解



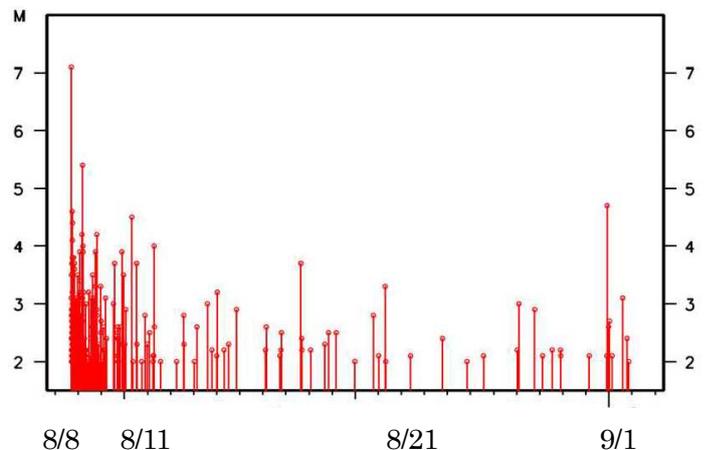
震央分布図中の緑色実線は、Baba et al.(2022)、Hirose et al.(2008)及びNakajima and Hasegawa(2007)によるフィリピン海プレート上面のおおよその深さを示す。

震央分布図の四角形領域内の断面図 (A-B 投影)



断面図中の水色の点線は、Baba et al.(2022)、Hirose et al.(2008)、Nakajima and Hasegawa(2007)、オレンジ色の点線は内閣府(2011)によるフィリピン海プレート上面のおおよその深さを示す。

震央分布図の四角形領域内の M-T 図

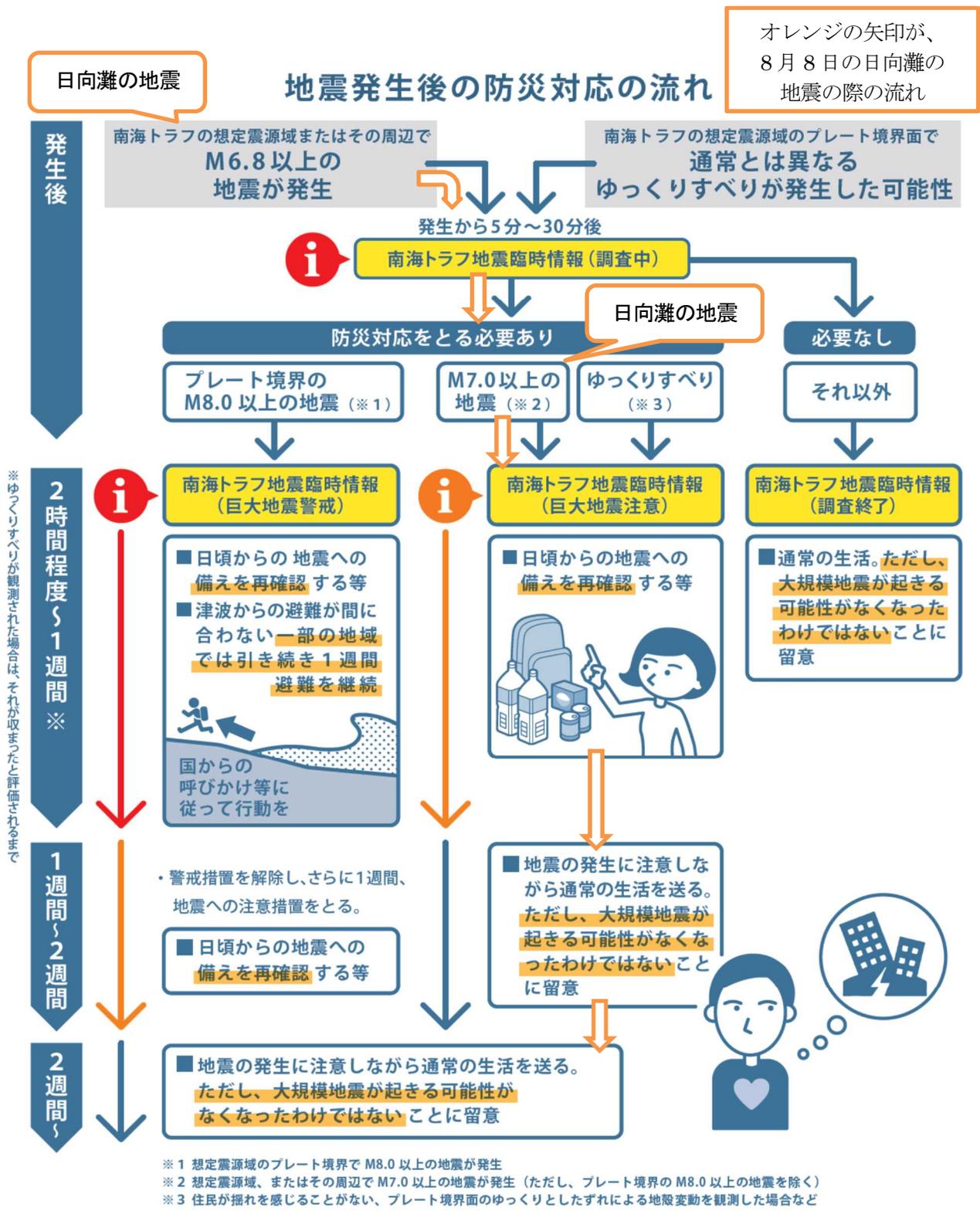


8月8日16時42分に日向灘の深さ31kmでマグニチュード (M) 7.1の地震が発生しました。この地震により、愛媛県では伊方町で震度4を観測したほか、東海地方から奄美群島にかけて震度6弱～1を観測しました。気象庁はこの地震に対して、16時43分0.94秒に緊急地震速報 (警報) を発表しました。また、愛媛県宇和海沿岸などに津波注意報を発表しました。この地震により、宮崎県の宮崎港 (国土交通省港湾局) で最大51cmの津波を観測したほか、千葉県から鹿児島県にかけて津波を観測しました。宇和島では7cmの津波を観測しました。

この地震は、発震機構 (CMT 解) が西北西-東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、フィリピン海プレートと陸のプレートの境界で発生しました。第404回地震調査委員会 (臨時会) では、「日向灘及び南西諸島海溝周辺の地震活動の長期評価 (第二版) (2022年3月25日公表)」で評価対象としていた「日向灘のひとまわり小さい地震」として評価されました。

今回の地震により、重傷2人、軽傷13人、住家全壊1棟、半壊1棟、一部破損77棟などの被害が生じました (2024年8月28日10時00分現在、総務省消防庁による)。

また、8月8日の日向灘の地震にて、「南海トラフ地震臨時情報」を2019年の運用開始以来、初めて発表しました。この情報は、南海トラフ全域を対象に地震発生の可能性の高まりについてお知らせするものです。情報発表の条件や防災対応の流れは、以下のとおりです。今回は、南海トラフの想定震源域でマグニチュード7.0以上の地震が発生したことで、「南海トラフ地震臨時情報(巨大地震注意)」の情報発表となりました。



リーフレット「南海トラフ地震 -その時の備え-」に一部追記  
<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/books/nteq/index.html>